

教えて! ドクター



Q インフルエンザのワクチンを受けましたが、インフルエンザにかかりてしまいました。せっかく受けたのに、ワクチンはあまり効かないのでしょうか?

A 現在のワクチンでは100%近くのインフルエンザウイルス感染を予防ができるわけではありません。原因の第一は現在国内で使用しているワクチンはA型2種類、B型2種類の最近流行したウイルス抗原を混合しワクチンとして使用しています。インフルエンザウイルスは、毎年ウイルスの抗原変異を起こします。現在のワクチンはH(ヘモアグルチニン)とN(ニューヨミニダーゼ)という表面たんぱくを中心としたワクチンです。ベトナム、中国南部等の東南アジアでアヒルや鳥類は不潔な環境で飼育されています。ウイルスは新しく変異して、渡り鳥と一緒に飛来します。日本の予想した通りの型のウイルスが流行すれば約6割~9割予防できるといわれていますが、新しい型のウイルスが入ってきて流行した場合にはその効果はありません。特に鳥インフルエンザのウイルスに近いウイルスが入つくなれば大流行となります。もう一つの原因是、ワクチン

を受けた人が、あまり抗体産生能力の強くない幼児や、免疫力が低下している老人等にワクチンを接種した場合にも起ります。また、インフルエンザ感染等に出現していくIgA抗体が予防上大切ですが、皮下接種はあまり出現しません。私は変化しないウイルス内部構造物質も多くの入ったワクチンを新しく開発中です。さらにアジュバントと呼ばれる免疫活性剤やネブライザー(薬剤吸入器)による経鼻投与方法も導入して、IgA抗体等も高め、防御力を高めます。また、インフルエンザワクチンを接種した方が接種安全性も高め、ワクチン開発を行っています。国内は行っています。

今回答えていただいた先生



奥田内科
院長 奥田 研爾

1976(昭和51)年横浜市立大学医学部卒業後、メイヨー医科大学、ハーバード大学Assistant professor、横浜市立大学医学部の教授となり、エイズやインフルエンザ等のワクチンの開発研究を行った。その後、同大学医学部長、同大副学長、デューク大学客員教授などを歴任。退職後、横浜市大名誉教授。2012(平成24)年奥田内科開院、現在に至る。ワクチン研究所所長。

あなたの街の 病・医院 ガイド



浅井耳鼻咽喉科医院

院長 浅井 和康

アレルギー性鼻炎レーザー治療
慢性副鼻腔炎日帰り手術

診療時間(月曜日~土曜日)

AM 9:00~12:00
PM 2:00~ 6:00

※木曜日・土曜日の午後、日曜日、祝日は休診

横浜市港南区上大岡東1-11-32
京急線・上大岡駅東口から徒歩1分(約100m)

☎045-842-0596



MCH 元町中華街歯科クリニック
MOTOMACHI CHUKAGAI DENTAL CLINIC

歯科 小児歯科

[診療時間]月~日

午前… 9:00~13:00

午後… 14:00~20:00

土日も夜8時まで診療

- 歯科疾患の予防
- インプラント治療
(手術料1本18,000円~)
- 入れ歯

行っています

インプラント診療なら… 元町中華街歯科クリニック 検索

横浜市中区山下町37-8 グローリオタワー横浜元町2階
みなとみらい線「元町・中華街」駅4番出入口スク

☎045-663-6480